学校番号	T3016

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	３・４年次
使用教科書	高等学校「新公共」　（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の諸課題について興味・関心をもち、議論できるようになる。

２　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての発展的な見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる発展的な概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	これまでに学んだ知識などを発展させ、現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを発展的に議論したりしている。	これまでに学んだ知識などを発展させ、よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共的な空間をつくる私たち	Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	a: 人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る発展的な技能を身に付けている。 b: 倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している。 c: 公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ　選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	a: 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 b: 幸福，正義，公正などに着目して発展的に考えている。 c: 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

	公共的な空間における基本的原理	Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	a: 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 b: 幸福，正義，公正などに着目して発展的に考えている。 c: 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
後期	法的な主体となる私たち	主題１　法や規範の意義と役割 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために 主題２　契約と消費者の権利・責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任 主題３　司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	a: 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b: 生徒に身近な紛争や課題を取り上げ，どのようにすれば公平・公正に調整できるのか，主体的なルールを作成・利用することで発展的に考察，構想，表現している。 c: 法や規範の意義と役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	政治的な主体となる私たち	主題４　政治参加と公正な世論の形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉 主題５　国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題 主題６　日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	a: 国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b: 変化する国際情勢の中で，日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか，広い視点に立って理解し，さまざまな観点から発展的に考察している。 c: 国際社会の変化と日本の役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

		主題７　国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割				
	経済的な主体となる私たち	主題８　雇用と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題 主題９　社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから 主題 10　市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉 主題 11　金融のはたらき 1 金融の意義や役割 主題 12　財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉 主題 13　経済のグローバル化 1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題 8 国際社会のこれから	a: 社会の変化と職業観について，人工知能の進化の影響など，現代の諸課題を理解している。 b: 価格の変化が，消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか，さまざまな観点から多面的・多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 c: 市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	a: 科学技術と政治の関係性を理解し、トランス・サイエンスの孕む矛盾や問題点を探し出すことができる。 b: 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 c: 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度